

製品名: リン酸化 GSK3 ベータ (Ser9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01551**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

抗原情報

遺伝子名	GSK3B
別名	GSK3B; Glycogen synthase kinase-3 beta; GSK-3 beta; Serine/threonine-protein kinase GSK3B
遺伝子 ID	2932
SwissProt ID	P49841
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

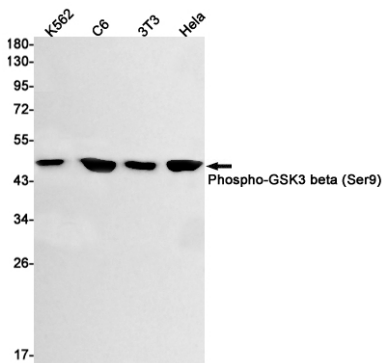
背景

グリコーゲン合成酵素キナーゼ 3 (GSK3) は、プロリンを標的とするセリン-スレオニンキナーゼであり、当初はリン酸化して不活性化するグリコーゲン合成酵素として特定されました。GSK3B は、エネルギー代謝、神経細胞の発達、および体型形成に関与しています。骨格筋では、GYS1 の活性をリン酸化して阻害し、グリコーゲン合成を抑制することで、インスリンによるグリコーゲン合成の調節に寄与します。

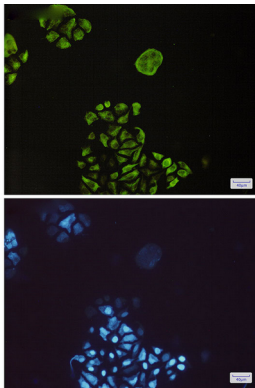
研究分野

神経科学

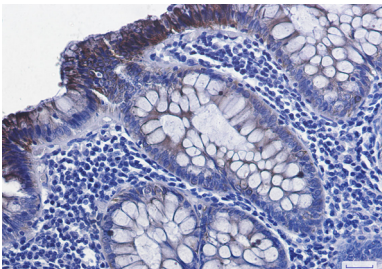
画像データ



Phospho-GSK3 beta (Ser9) 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の Phospho-GSK3 beta (Ser9) のウェスタン ブロット分析。



Hela におけるリン酸化 GSK3 ベータ (Ser9) (緑) の免疫細胞化学分析 (リン酸化 GSK3 ベータ (Ser9) 抗体および DAPI (青) を使用)



リン酸化 GSK3 β (Ser9) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。